

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

金融で未来を拓く。小口化という仕組みによる新たな投資の選択肢を提案し、多くの顧客に本当に価値ある資産を届ける。

売上高
129,764百万円

親会社株主帰属利益
18,156百万円

ROE
32.9%

配当性向
50%

② 中長期の経営戦略

1. 営業体制強化

営業体制の拡充、人員増強と育成により成長を支える体制を強化

2. DXの推進

事業領域の拡大、UXの改善、業務効率化を推進

3. グループ連携

FPG証券、FPG信託等各社のリソースを活用した新たな商品サービスを創出

4. 第4の柱構築

リースファンド・不動産ファンド分野以外の新規事業領域を構築

③ 対処すべき課題

① 販売構成比の最適化

- ・短期フルエクイティ案件の販売構成比増加により利益率が低下。商品ミックスの見直しが課題
- ・プレミアム大規模案件の原価率の高さによる利益圧迫。価格設定・販売戦略の改善が必要

② リーディング地位の維持獲得

- ・リースファンド・不動産ファンド（国内・海外）分野での競争優位性を確保
- ・市場環境の変化に対応した商品開発と営業戦略の強化

③ 毎期増収増益の実現

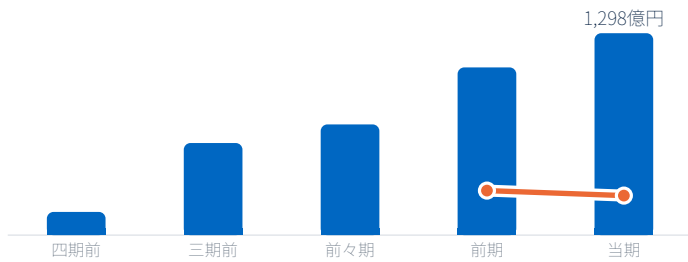
- ・2026年9月期は過去最高益の更新を目指す必要がある
- ・売上増加に見合う利益成長の実現が課題

面接で使えるポイント

- ・FPGは2025年9月期に売上高129,764百万円で過去最高を更新し…
- ・リースファンド・不動産ファンド分野でリーディングカンパニー地位を目指し、DX推進や営業体制強化に注力している
- ・毎期増収増益と配当性向50%を目安とした株主還元を掲げ、経営効率と株主価値向上に取り組んでいる

証券コード 7148

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,298億円営業利益率
19.6%財務健康度
66点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 66.3（当サイト算出の参考指標）

要するに

東京都千代田区に本社を置く金融サービス企業

主力事業・セグメント

- ・国内不動産Fund 74.2%
- ・リースFund 23.1%
- ・海外不動産Fund 2.7%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高1,298億円の事業規模
- ・営業利益率19.6%と高い収益性
- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収

1,019万円

平均年齢

41.4歳

平均勤続

4.9年

女性管理職

6.3%

男性育休

100.0%

証券、商品先物取引業内 11位/36社 証券、商品先物取引業内 26位/36社 証券、商品先物取引業内 28位/36社 証券、商品先物取引業内 15位/19社 証券、商品先物取引業内 4位/16社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

